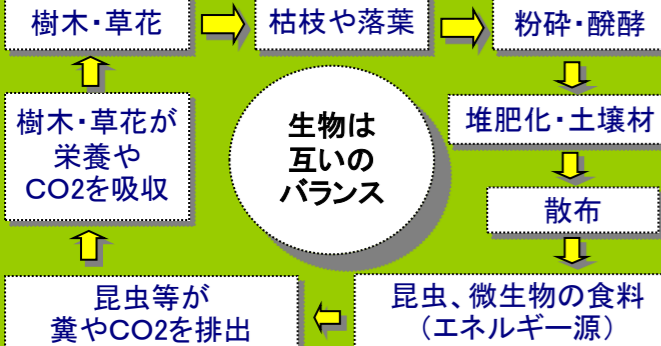


モエレ沼公園 環境マップ2009

公園樹木のリサイクルと生態系ピラミッド

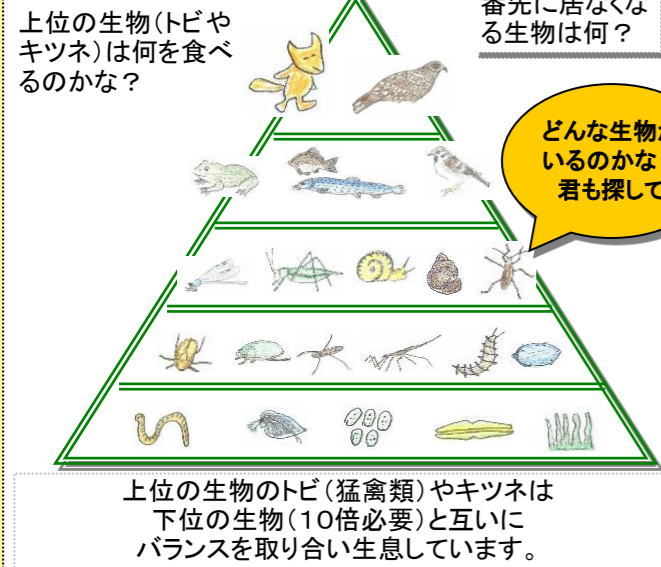
【枯枝・落葉等のリサイクル...生態系へ寄与】



植物は植物だけでは生きて行けません、動物も動物だけでは生きて行けません、互いにバランスを取る事で「生

■モエレ沼公園内の生態系ピラミッド

食物連鎖



※地球は私達人間だけのものではありません...
小さな虫や草も...地球に必要なだから...
生息しています。

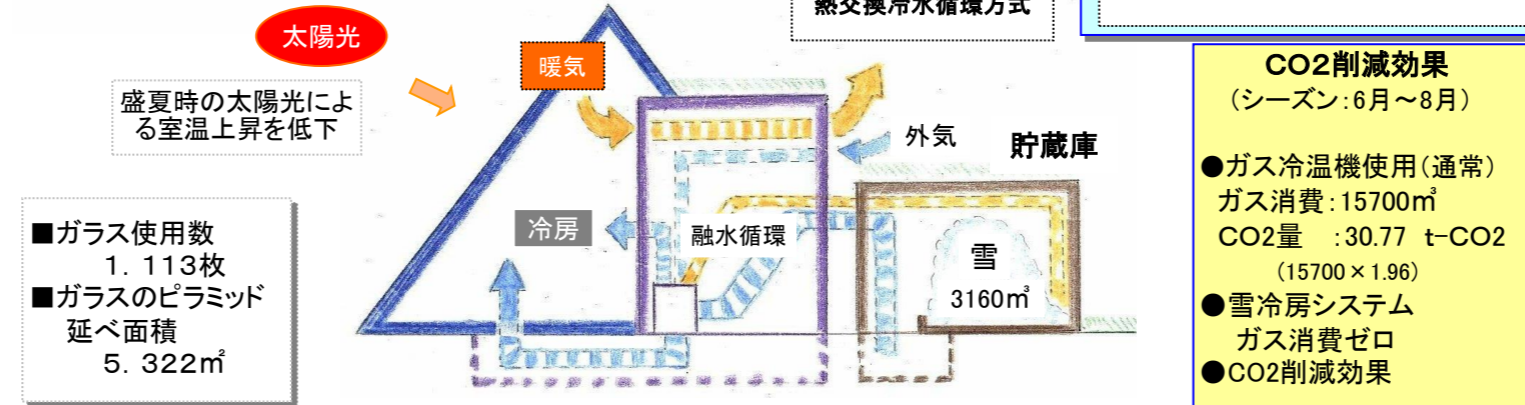
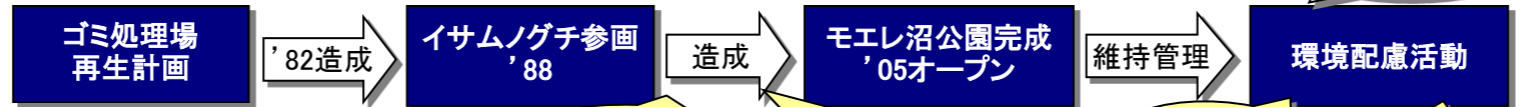
環境モニタリング

2009年4月より公園内の植生について定期的に定点観測を行い、公園の環境変化を明らかにすると共に環境意識向上を図ります。

- モニタリングの種類
 - ・植物類
 - 実施時期
 - ・4月末~11月

- モニタリングの場所
 - ・ワインの森(仮称)
 - 右図参照

モエレ沼公園 環境マップ2009



- ガラス使用数 1,113枚
- ガラスのピラミッド 延べ面積 5,322㎡

- CO2削減効果 (シーズン:6月~8月)
- ガス冷温機使用(通常) ガス消費:15700㎡ CO2量:30.77 t-CO2 (15700×1.96)
- 雪冷房システム ガス消費ゼロ
- CO2削減効果

モエレ沼公園 環境マップ2009

モエレ沼公園では環境(エコ・ビオトープ)について、様々な取り組みを行っています。皆さんも環境について、一緒に考えてみよう。

公園内の樹木や草花は、地球温暖化の原因である【CO2:二酸化炭素】を吸収・貯蔵しています。(周囲の温度も低下)

園内樹木等による年間CO2吸収量を見てみましょう。

【現代の大人一人の年間CO2排出量に換算したら...】

一人の人間が1年間に排出するCO2量は、約【3.56】t-co2

広葉樹のCO2吸収量

サクラ・シラカバ・シナノキ・ハルニレ・その他

■広葉樹の本数:約30000本 平均幹太:15cm

■年間CO2吸収量 30000×0.03=900 t-co2

これは、【253人】の人間が排出する年間のCO2吸収量に相当

針葉樹のCO2吸収量

カラマツ・ドイツウヒ・プンゲンストウヒ・アカエゾマツ・その他

■針葉樹の本数:約30000本 平均幹太:15cm

■年間CO2吸収量 30000×0.04=1200 t-co2

これは、【337人】の人間が排出する年間のCO2吸収量に相当

草花のCO2吸収量

■面積:80 ha

■年間CO2吸収量 80...1.1/㎡=880 t-co2

これは、【247人】の人間が排出する年間CO2吸収量に相当

全体のCO2吸収量

公園全部の樹木や草花は、【837人】の人間が排出する年間CO2吸収量に相当します。

モエレ沼公園 ビオマップ2009

ビオ=[BIO:ビオトープ]⇒生物の生息場所

モエレ沼公園に飛来、生息する代表的な水鳥



■ **アオサギ**
サギ科・体長約1m
翼開長幅約2m
日本で繁殖するサ

コロニーには、多くのサギが集まり、主に魚を主食としていますが、甲殻類、昆虫、小



■ **マガモ**
体長:約60cm

水辺近くの茂みに巣を作り、植物や水棲生物をエサとする。水面を泳ぐことは得意だが、水中にもぐることは不得意。アヒルの先祖として有名。



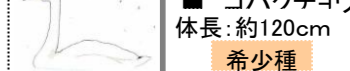
■ **カルガモ**
体長:約60cm

マガモにくらべ全体に黒っぽく、くちばしの先端だけが黄色。



■ **コガモ**
体長:約40cm

オスは色彩豊かで体に水平



■ **コハクチョウ**
体長:約120cm
希少種

首もくちばしもオオハクチョウ



■ **カイツブリ**
体長:約25cm

夏羽は栗色、冬羽は淡褐色...潜水が得意で足指に水



■ **ミコアイサ**
絶滅危惧種

体長:約40cm・道内で少数繁殖、オスは白い体に黒いすじがありパンダのような顔、メスは頭が栗色でほほが白い。



■ **カワアイサ**
体長:約65cm

道内で少数繁殖、オスは後頭部が丸胸はピンクがかった白、メスは頭部が茶色、アイリ



■ **キンクロハジロ**
体長:約40cm

道内で少数繁殖、目が黄色オスは腹部だけ白く他は黒い。

公園内や沼には、外来の「植物や生き物」を植えたり、放さないで下さい。

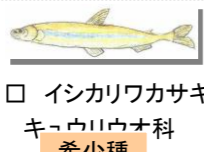
観察ポイント



モエレ沼公園に生息する代表的な淡水魚・昆虫、小動物・藻類

■ 生息する淡水魚

- ・イシカリワカサギ・フナ
- ・ヘラブナ ・ヤチウグイ
- ・イトヨ ・ジュズカケハゼ
- ・アカハラ ・トウヨシノボリ等



□ イシカリワカサギ
キウリウオ科
希少種

■ 生息する移入淡水魚

- ・モツゴ(本州) ・ゲンゴロウフナ(琵琶湖)
- ・タイリクバラタナゴ(中国) ・ライギョ等

■ 生息する昆虫類

- ・トンボ類
アキアカネ・オニヤンマ・シオカラトンボ・アオイトトンボ等
- ・チョウ類
モンシロチョウ・キアゲハ・クロアゲハ・シジミチョウ等
- ・その他

■ 生息する小動物

- ・キツネ ・トガリネズミ等

■ その他生物

- ・藻類 ...ヒシ類
ヒンジモ⇒ウキクサ科
絶滅危惧種



■ **ホタルも生息...** モエレ沼に注ぐ中沼地区の小川には、ホタルが生息...

※7月末には「ホタルツアー」を実施します!

■ 生息するホタルの種類

【平家ボタル】



夕焼けレストラン
「ランファン・キレーヴ」
・地産地消(道産食材)
・減農薬野菜の利用
テイクアウトショップでは、紙や木の食器を利用(ピラミッド内)

どんな鳥がいるか見てみよう...

■ **シメ**
北海道の林で繁殖、大きなくちばしの周りに黒いよだれかけ。

■ **エナガ**
森の白い白い妖精。

■ **ハヤブサ**
地球上で最も速く移動できる...朝夕に活発に活動し、鳥類をエ

■ **ハクセキレイ**
体長:約20cm
水に近い開けた土地を好み、尾っぽを動かし足早に歩く。

■ **ミヤマカケス**
青い雨おい黒い尾、美しい姿とはかけ離れ、ジャーツ・ジャーとしわがれ声。

■ **ツグミ**
体長:約25cm
地面に舞い降り歩きながらエサを探す。

■ **ヒバリ**
草むらに巣を作り、ピーチュルピーチュルと上空で長く歌う。

■ **アカゲラ**
林に住み枯木等の虫を食べる。赤い腹で樹木の幹に縦に止まる。

■ **シジュウガラ**
市街地も飛来し、一年中見られる。

■ **カッコウ**
カッコウ科
青、灰黒、白色
森林や草原に生息し夏鳥として有名...托卵も有名。「カッコウ」の鳴き声は5月中旬から7月末頃

■ **エゾセンニュウ**
体長:約20cm
ヤブ地に生息し茶色でやや大きい。トッピンカケタカと歌う。

■ **オジロワシ**
タカ科
体長:約80cm
翼開長幅2m
絶滅危惧種・天然記念
河口や湖沼近辺に生息、大型の魚類や鳥類を捕食...冬北

■ **コウライキジ**
キジ科・緑色他
体長:約80cm
1930年頃北海道へ狩猟目的に放鳥され、森林、農耕地、湿原に生息...植物の種子や葉、昆虫等がエサ、飛ぶことは少ない。

グリーン電力 HIDAMARIの活動及びマップ印刷に関わる電力は【グリーン電力】を利用しています。

■ 電力量消費予定	グリーン電力 購入 【1000Kwh】
・ミーティング、イベント活動 =714.0Kwh ・環境マップ、樹木マップ印刷(各10,000枚) ・サクラマップ(500枚) 以上計=185.5Kwh 合計 899.5Kwh	

■ **購入先:北海道グリーンファンド**

■ **グリーン電力証明システム**
北海道各地の自然エネルギー(風力)により発電されたCO2を排出しないグリーン電力を広げて行く認証システム

製作・発行 **モイレHIDAMARI**【任意団体】
「樹木管理」を中心に会員18名がボランティア活動を行っています。
Home-Page : http://park.geocities.jp/moire_hidamari/
会員及び準会員募集中! お問い合わせは、公園管理事務所へ